

現職研修「AEDを使用した心肺蘇生法講習会」を開催しました！

7月8日（水）の期末考査初日の午後、現職研修「AEDを使用した心肺蘇生法講習会」を開催しました。この現職研修は、毎年瀬戸消防署に講師を依頼し開催していましたが、今年には本校養護教諭の東畑先生の指導のもと開催されました。その様子をご紹介します。

まず本校に設置されているAEDの使用法を動画で確認し、口頭でポイントと注意点の説明がありました。次に、保健部による「傷病者発見から胸骨圧迫、AEDによる除細動まで」の手順をロールプレイし、その後4～6人のグループに分かれて、実技練習をしました。実技練習では質問が出たりなど、積極的に参加されていました。また、担架の使い方や運搬方法の注意点もご説明いただきました。

「胸骨圧迫するのは慣れていないととても難しいこと」や「1人で胸骨圧迫をし続けるのは体力的に厳しいこと」を身をもって体験し、できるだけ複数の人を呼ぶことの大切さを確認することができました。このように定期的の実技練習する機会を設定することで、生徒や職員の安全を守るための知識や技術を確認する大切な時間となりました。

